

10月30日の政策秘書課職員との話を紹介します。

愛知県警が発表するランキングで気になることがあります。

それは、南小学校区が、今年1月から9月までの犯罪発生多発学区で、愛知県979小学区中、ワースト9位に入っていることです。

長久手より悪いところは、いずれも栄などの繁華街に近いところです。そうしたところの次に南小学校区がランキングされているのです。

東洋経済新報社の住みやすさランキングで全国4位でありながら、犯罪が多い。それで良いのでしょうか。

南小校区の方に、思い当たる原因を尋ねると、「インターが近いから」「大型商業施設があるから」「グリーンロード沿いに不特定多数が集まる施設が多いから」等の理由を言われます。それらも一理あるでしょう。でも、「だから犯罪が多くても仕方がない」と納得してしまっているのでしょうか。

今こそ、みんなが一丸になって、犯罪を減らす努力をする必要があると思います。

## 地域の「目」を増やす

先日、愛知警察署に行き、この件について話をしました。侵入盗は、夕方4時30分から7時頃まで、家の中に電気の付いていない家庭を何度も下見し、生活パターンからその時間帯が不在であることを確認して、わずか2～3分で犯行に及びそうです。

犯罪が多い＝互に関心がない 地域と言えるかもしれません。

神戸市で女子小学生が殺害された事件がありましたが、近所の人が姿を見かけたり声を掛けたりしていた地域でも、あのような事件が起きました。

### 平成26年1～9月犯罪発生多発学区ランキング（暫定）

（愛知県警察本部生活安全総務課発行「地域安全対策ニュース」より）

	学区	所属	件数
1位	栄	中	1,002
2位	新明	中村	702
3位	名城	中	474
4位	新栄	中	379
5位	山田	西	358
6位	大須	中	302
7位	矢田	東	278
8位	牧野	中村	270
<b>9位</b>	<b>長久手南</b>	<b>愛知</b>	<b>251</b>
10位	羽根	岡崎	247

愛知警察署長が言われるには、「あいさつ」がしっかり行われている地域では、犯罪者は「顔を見られた」と感じて犯行に及ばず、確実に犯罪が減るそうです。



南小学校区では、自主的に夜間のパトロールを行っている団体や、自転車の前カゴに「パトロール中」という看板を付けている方も多くいらっしゃいます。自治会連合会では、防犯カメラを設置したり、「防犯カメラ作動中」という看板を自治会に配ったりしています。PTAから保護者や南小学校区自治会連合会に登下校時の見守りをお願いし、協力いただいているとも聞いています。多くのみなさんが、防犯の取組をしてくださっているのですが、それでもまだ、地域の目が足りないのです。

市が配布している「あいさつ運動啓発ベスト」や、交通安全・防犯の「黄ベスト」などを着用して散歩すれば、地域の目をより強く犯罪者に意識させることができると思うので、ぜひ、活用してください。

市でも、現在、青パトを重点的に南小学校区に巡回させています。消防車も赤色回転灯を回しながらパトロールしています。

南小学校区にお住まいのみなさん、地域一丸となって、あいさつ、見守り活動、地域の目を増やす取組を行い、犯罪発生学区ワースト10から外れるようにチャレンジしようではありませんか。「MJM＝まちは自分で守る」取組を、今こそ始めてもらいたいのです。

～市長の話を聞いて～

私も南小学校区の住民です。先日、夜9時頃に、近所50軒くらいに行事のチラシをポスティングしましたが、門灯を消している家が多く、玄関回りが暗い家が多いことに驚きました。

「南の座談会～南のステーション、みんなで作りますか？」に参加したとき、南小学校区自治会連合会役員と話をする機会がありました。その際、連合会の役員のみなさんが、校区内の店舗や企業を回って集めた協賛金や自治会費を使って、防犯カメラを設置していただいていることを知りました。「自治会に加入しているメリットがない」という話もよく耳にしますが、こうした地域での取組を知り、他人事ではなく、みんなが犯罪から身を守るため、自分自身ができることから始めていくことが必要だと思いました。